



2019年12月期 第2四半期 決算説明会

(2019年8月28日)

千代田インテグシ株式会社

(東証1部：6915)

2019年12月期 第2四半期連結業績

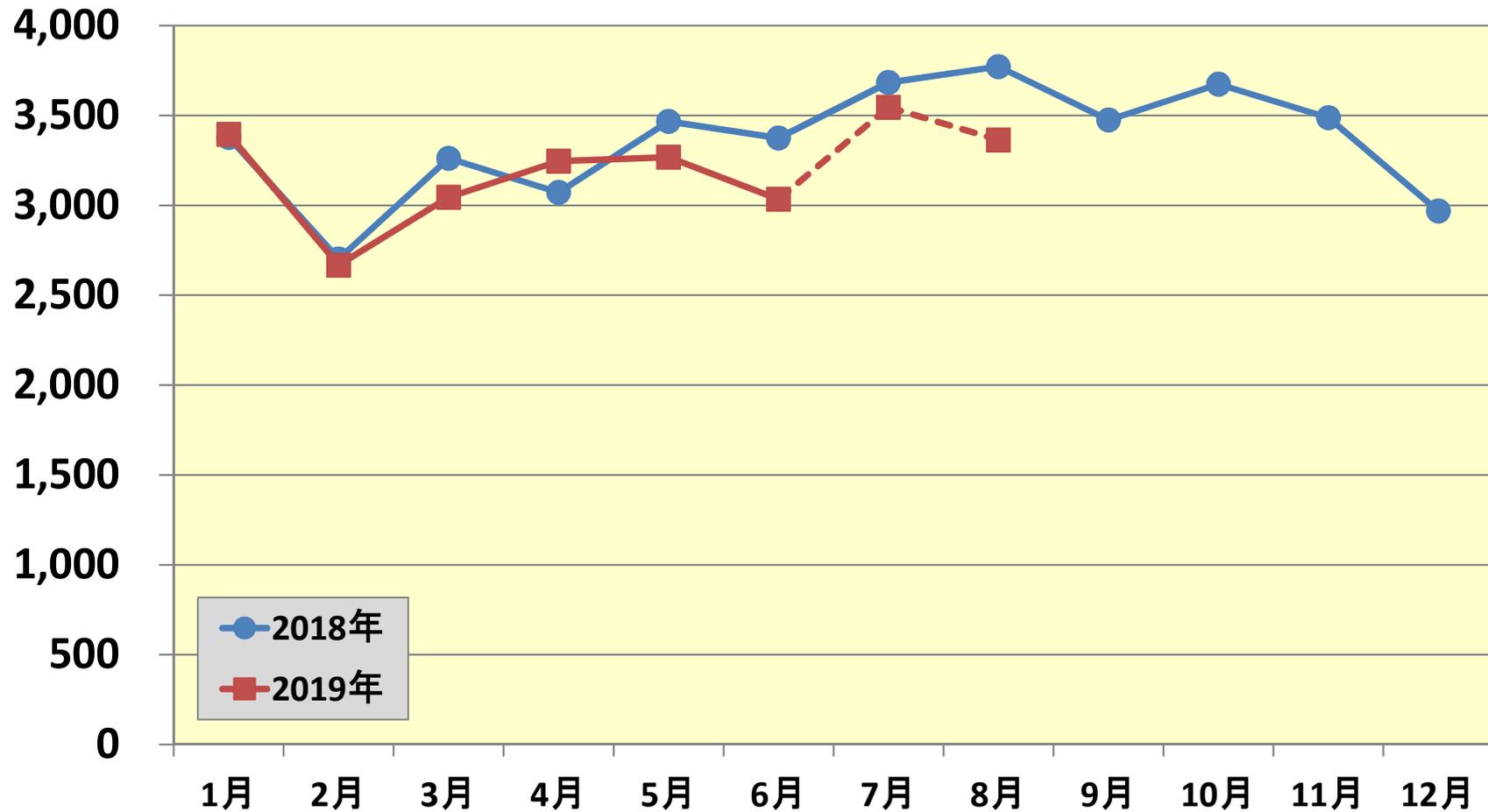
	2018年	2019年	増減額	増減率
単位： 百万円	実績 (構成比)	実績 (構成比)		
売上高	19,278	18,705	△572	△3.0%
売上総利益	4,089	3,932	△157	△3.9%
	21.2%	21.0%		
営業利益	1,058	857	△200	△19.0%
	5.5%	4.6%		
経常利益	1,080	956	△123	△11.4%
	5.6%	5.1%		
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	644	824	180	28.0%
	3.3%	4.4%		
為替レート /US\$	108.67円	110.06円		

当第2四半期連結業績のポイント

<p>売上高</p>	<p>前期比 5.7億円減収 ✓為替の影響額 △1.7億円 ✓業種別純増額 △4.0億円 (OA機器 △1.6億円、AV機器 △0.6億円、 通信機器 △1.0億円、自動車 △1.1億円、電子デバイス △0.8億円など)</p>
<p>営業利益</p>	<p>前期比 2億円減益 ✓売上総利益率の低下 (21.22%→21.02%) ✓減価償却費の増加 △0.3億円 ✓試験研究費の増加 △0.2億円</p>
<p>親会社株主に 帰属する 四半期純利益</p>	<p>前期比 1.8億円増益 ✓法人税等の減少 +2.3億円 ✓固定資産売却益の増加 +0.8億円 ✓為替差損の減少 +0.4億円</p>

月次売上高の傾向

(単位:百万円)



2019年12月期 単体業績

	2018年	2019年	増減額	増減率
単位： 百万円	実績 (構成比)	実績 (構成比)		
売上高	6,178	5,916	△ 262	△ 4.2%
売上総利益	1,340	1,258	△ 82	△ 6.1%
	21.7%	21.3%		
営業利益	△ 37	△ 145	△ 108	-
	-	-		
経常利益	1,917	294	△ 1,623	△ 84.7%
	31.0%	5.0%		

セグメント別業績(日本)

単位: 百万円	2018年	2019年	増減額	増減率
外部顧客売上高	4,944	4,718	△ 226	△ 4.6%
セグメント間の 内部売上高	1,684	1,640	△ 44	△ 2.6%
合計	6,629	6,358	△ 271	△ 4.1%
営業利益	△ 3	△ 127	△ 124	—
営業利益率	—	—		

※日本地域には国内子会社 1 社が含まれています

事業領域の拡大に向けて活動を推進してきたものの、
各分野とも低調でありました

セグメント別業績(東南アジア)

単位: 百万円	2018年	2019年	増減額	増減率
外部顧客売上高	7,276	7,139	△ 137	△ 1.9%
セグメント間の 内部売上高	47	50	3	6.4%
合計	7,323	7,190	△ 133	△ 1.8%
営業利益	572	420	△ 152	△ 26.6%
営業利益率	7.9%	5.9%		

中国からの生産移管等によりOA機器向けが伸びた一方、
AV・通信機器向けが減少しました

セグメント別業績(中国)

単位： 百万円	2018年	2019年	増減額	増減率
外部顧客売上高	5,398	5,242	△ 156	△2.9%
セグメント間の 内部売上高	306	389	83	27.1%
合計	5,704	5,632	△ 72	△1.3%
営業利益	127	218	91	71.7%
営業利益率	2.4%	4.2%		

チャイナプラスワンの情勢に加えて、
米中貿易摩擦の影響による生産減が表れ始めました

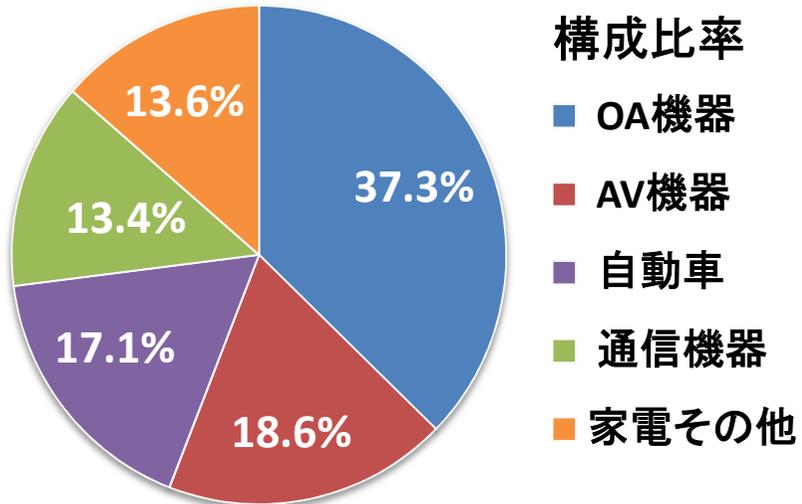
セグメント別業績(欧米)

単位: 百万円	2018年	2019年	増減額	増減率
外部顧客売上高	1,658	1,605	△ 53	△ 3.2%
セグメント間の 内部売上高	22	29	7	31.8%
合計	1,681	1,635	△ 46	△ 2.7%
営業利益	△ 34	△ 1	33	—
営業利益率	—	—		

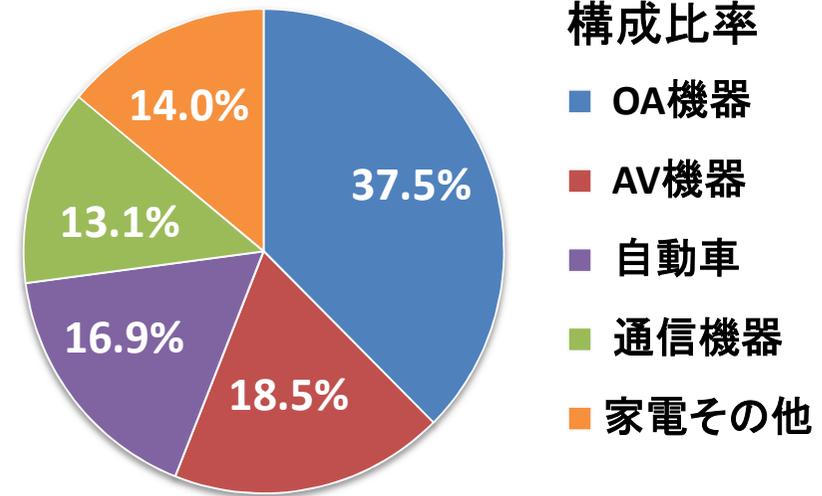
米国でのAV機器向けが減少しました

売上高に占める主要業種の構成比(連結)

2018年

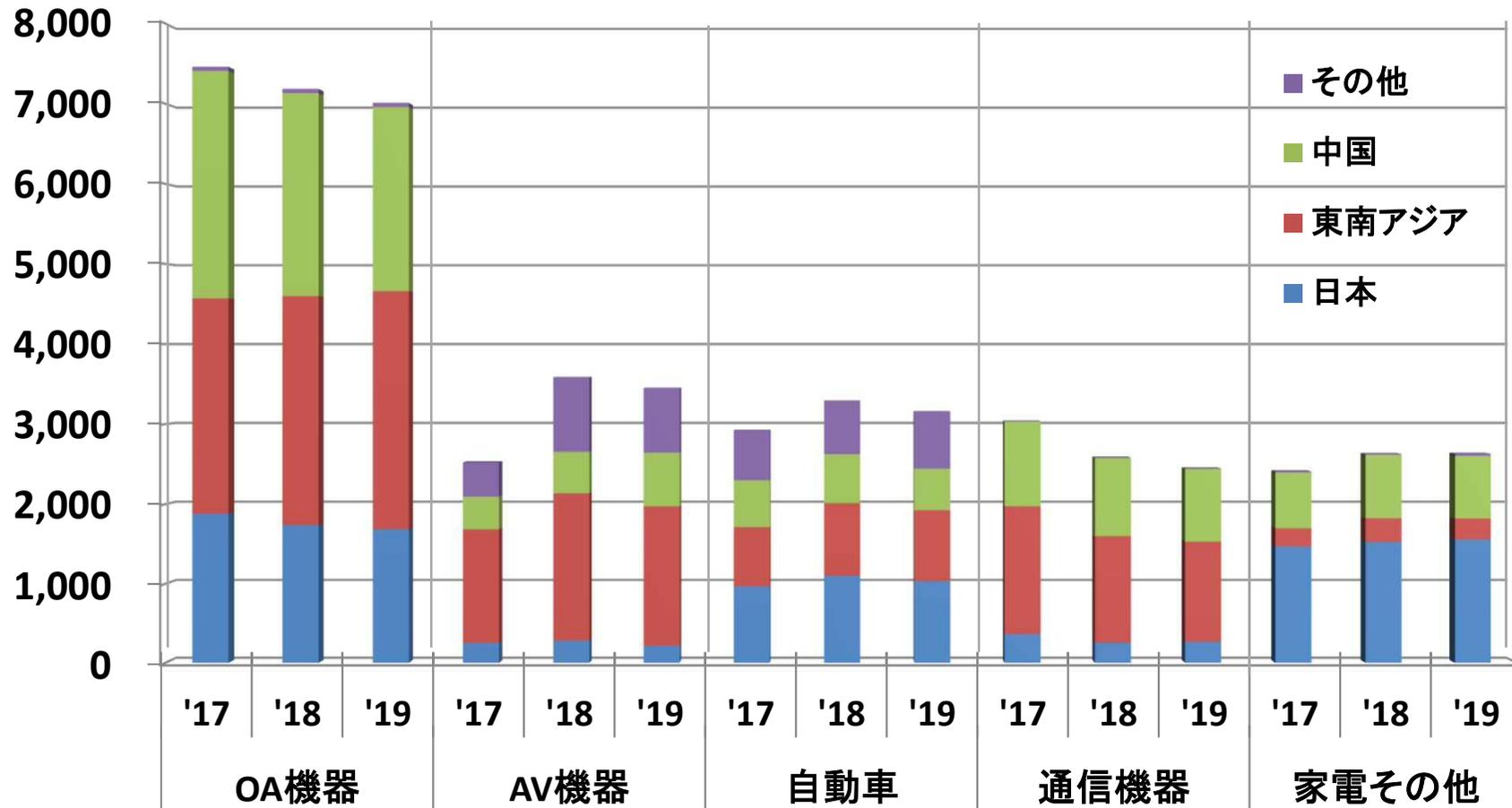


2019年



業種別売上高の比較(連結)

(単位:百万円)



設備投資と減価償却費

単位：百万円		2018年 通期実績	2019年 第2四半期	2019年 (通期予測)
設備投資	日本	256	237	1,400
	海外	1,004	386	1,300
	合計	1,260	623	2,700
減価償却費		1,070	575	1,100

2019年第2四半期の主な設備投資

- ・機械設備：449百万円
- ・土地建物：124百万円

2019年の設備投資(今後の予定)

- ・機械設備：750百万円
- ・土地建物：1,200百万円

2019年12月期 連結業績見通し

	2018年 第2四半期	2019年 第2四半期	2018年 通期	2019年 通期	2019年 通期	備考
単位： 百万円	実績 (構成比)	実績 (構成比)	実績 (構成比)	予想 (前回) (構成比)	予想 (修正後) (構成比)	
売上高	19,278	18,705	40,324	42,000	40,000	下期は、各エリア・業種で上期に比べて持ち直す見込みです。
営業利益	1,058 5.5%	857 4.6%	2,646 6.6%	2,900 6.9%	2,300 5.8%	設備の導入による生産性改善と販管費抑制により、下期の営業利益率の向上を図ります。
経常利益	1,080 5.6%	956 5.1%	2,789 6.9%	3,000 7.1%	2,400 6.0%	営業利益とほぼ同額を見込んでいます。
親会社株主に 帰属する 純利益	644 3.3%	824 4.4%	2,090 5.2%	2,200 5.2%	1,900 4.8%	下期の特別利益および特別損失は見込んでいません。
為替レート /US\$	108.67円	110.06円	110.44円	108.00円	108.00円	

利益配分に関する基本方針

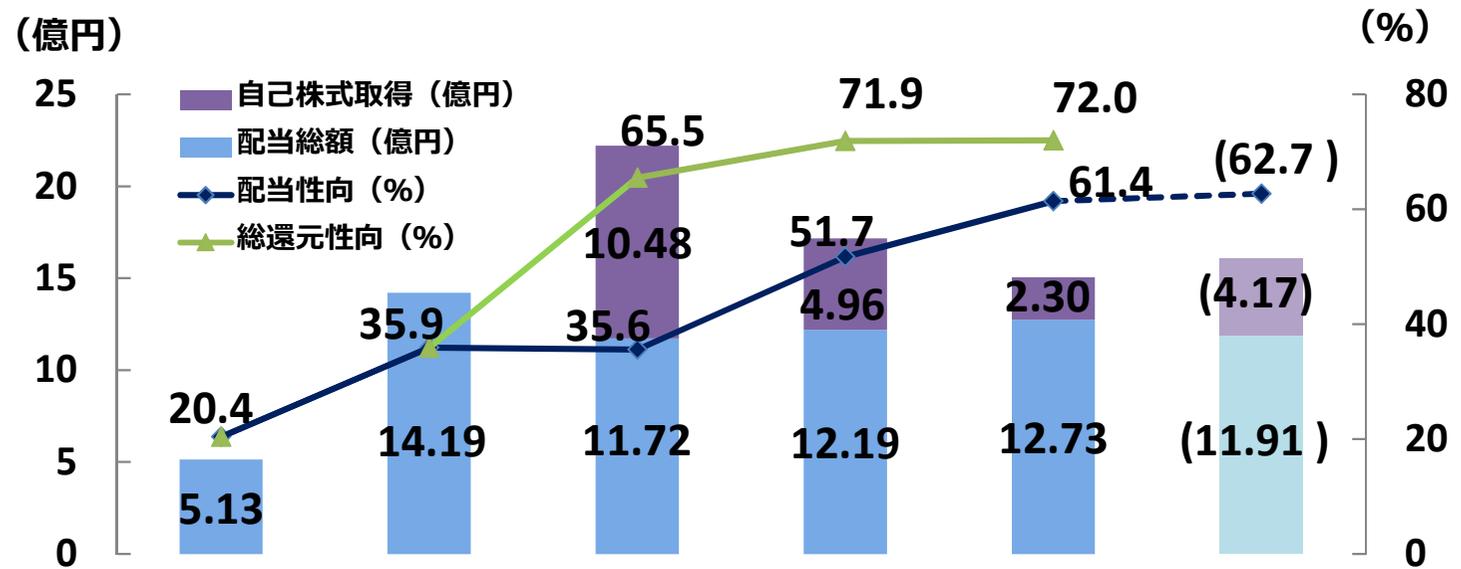
2019年12月期から2021年12月期までの3期について

- ① 配当性向は50%以上を目処
- ② ROE10%以上を目標として、株価水準や市場環境等を勘案しながら、総還元性向80%を目処とした自己株式の取得を機動的に実施

○2019年12月期

- ・ 自己株式取得 200,000株（発行済株式総数の1.57%）
金額：417百万円 5月20日～7月29日実施済
- ・ 1株当たり配当金 95円（予想）

株主還元の様況



	'14.08月期	'15.08月期	'16.12月期	'17.12月期	'18.12月期	'19.12月期 (予想)
期末配当 (円)	38	105	90	95	100	(95)
配当総額 (億円)	5.13	14.19	11.72	12.19	12.73	(11.91)
配当性向 (%)	20.4	35.9	35.6	51.7	61.4	(62.7)
自己株式取得 (億円)	0	0	10.48	4.96	2.30	(4.17)
総還元性向 (%)	20.4	35.9	65.5	71.9	72.0	-

※'15.08月期末配当：記念配当 10円を含む

内製材料の進捗状況(商品動向)

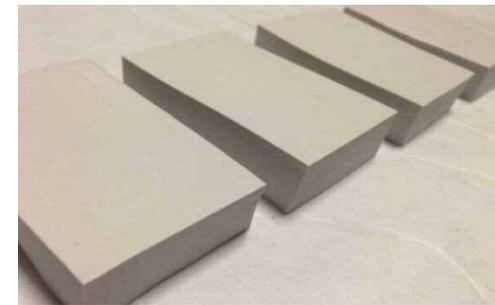
- ・ **LCPフィルム**

工程部材として一部採用、販売を開始しました。



- ・ **熱ゴム**

自動車業界向けにスペックイン活動を行い、今秋から複数社で採用が決定しました。



引き続き、各拠点にて拡販していきます。

「地域」「顧客」に関する動向

「地域」

1. 中国・山東工場 生産キャパシティー増強のための移転計画中
(2019年12月頃稼働予定)
2. 北米自動車向けの販売活動
→ 2019年7月 ミシガン州に営業オフィス開設
3. スロバキア工場
→ 2019年7月より増床工事開始

「顧客」

1. 自動車 Tier1,2メーカーへの拡販推進中、R&D部門へ営業強化
2. 自動車 電装化・EV化に伴う受注進行中
3. ヘルスケア向け取引顧客増加

展示会への出展

- **ドイツ** Automotive Interior Expo (5/21~5/23)
- **上海** Adhesive Tape Protective Film & Functional Film Expo (6/12~6/14)
- **タイ** Manufacturing Expo (6/19~6/22)

LCPフィルム、熱ゴム、蓄熱製品などをメインに展示しました。
これからも拡販活動が続けていきます。



Copyright © 2019 Chiyoda Integre Co., Ltd. All Rights Reserved.

本資料の取扱上のご注意

本資料で記述されている将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

その見通しは世界経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等により変動することがあり得ます。

実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性もありますことをご承知おきください。